



## 2024年9月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月14日

上場会社名 株式会社くふうカンパニー 上場取引所 東  
コード番号 4376 URL https://kufu.co.jp/  
代表者 (役職名) 取締役兼代表執行役 (氏名) 穂田 誉輝  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役 (氏名) 菅間 淳 TEL 03-6264-2323  
定時株主総会開催予定日 2024年12月24日 配当支払開始予定日 -  
有価証券報告書提出予定日 2024年12月25日  
決算補足説明資料作成の有無：有  
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年9月期の連結業績（2023年10月1日～2024年9月30日）

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期	15,544	△24.1	631	△66.4	499	△71.2	308	△43.8
2023年9月期	20,486	10.0	1,882	20.8	1,735	17.3	548	21.1

(注) 包括利益 2024年9月期 326百万円 (△14.8%) 2023年9月期 382百万円 (△31.6%)  
EBITDA 2024年9月期 1,705百万円 (△41.7%) 2023年9月期 2,926百万円 (△13.3%)  
「EBITDA」は、営業利益に減価償却費及びのれん償却額を加えて算出したものであります。

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年9月期	5.15	5.14	3.0	2.5	4.1
2023年9月期	9.56	9.52	5.4	8.2	9.2

(参考) 持分法投資損益 2024年9月期 △76百万円 2023年9月期 △63百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年9月期	18,875	12,169	56.8	179.21
2023年9月期	20,973	11,596	48.0	173.58

(参考) 自己資本 2024年9月期 10,714百万円 2023年9月期 10,069百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年9月期	△196	△498	△1,192	7,475
2023年9月期	4,754	△886	△1,749	9,369

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2023年9月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年9月期	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-
2025年9月期(予想)	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-

### 3. 2025年9月期の連結業績予想（2024年10月1日～2025年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		EBITDA	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	14,000	△9.9	500	△20.9	1,600	△6.2

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更：有

新規 1社 (社名) 株式会社ゴールドエッグス

除外 5社 (社名) 株式会社K-コンサルティング、くふう少額短期保険株式会社、株式会社スペースマゼラン、OMソーラー株式会社、株式会社くふうジオデータ

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2024年9月期	59,887,595株	2023年9月期	58,301,719株
----------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2024年9月期	98,222株	2023年9月期	292,268株
----------	---------	----------	----------

③ 期中平均株式数

2024年9月期	59,812,477株	2023年9月期	57,340,844株
----------	-------------	----------	-------------

(注) 当社の一部の連結子会社は、株式給付信託型ESOPを導入しており、株式給付ESOP信託口が所有する当社株式は、自己株式に含めて記載しております。

(参考) 個別業績の概要

2024年9月期の個別業績（2023年10月1日～2024年9月30日）

1. 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期	2,209	△36.2	56	△93.0	168	△83.5	255	△55.1
2023年9月期	3,462	210.4	804	—	1,022	—	569	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期	4.26	4.26
2023年9月期	9.93	9.90

2. 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年9月期	21,290	10,919	51.3	182.32
2023年9月期	20,458	10,049	49.1	173.12

(参考) 自己資本 2024年9月期 10,917百万円 2023年9月期 10,042百万円

<個別業績の前期実績値との差異理由>

当事業年度において、前事業年度に計上した営業投資有価証券の売却収入が減少したこと等により、前事業年度の実績値と当事業年度の実績値との間に差異が生じております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 連結貸借対照表 .....	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	6
連結損益計算書 .....	6
連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(会計方針の変更) .....	12
(セグメント情報) .....	12
(1株当たり情報) .....	14
(重要な後発事象) .....	15

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当社グループは“「くふう」で暮らしにひらめきを”を経営理念とし、「毎日の暮らし」及び「ライフイベント」において、生活者であるユーザーにとっての利便性や豊かさを最優先に考え、情報格差の解消や利便性の高いサービスづくりに取り組むとともに、ユーザーの主體的な意思決定や行動につながる価値提供を目指しております。

当連結会計年度において、当社グループがサービスを展開する社会生活を取り巻く環境は、金利の上昇や原材料価格の高騰、円安の進行等に伴う物価上昇により実質賃金が低迷するなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。このような経営環境のもと、グループサービスの付加価値向上や事業運営の効率化を目指し、生活者のニーズの変化への対応、急速に発展するAI技術を活用したサービス開発の強化、グループ内組織再編等に取り組んでまいりました。

当連結会計年度の経営成績については、売上高は15,544百万円（前年同期比24.1%減）、営業利益は631百万円（前年同期比66.4%減）、経常利益は499百万円（前年同期比71.2%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は308百万円（前年同期比43.8%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、当連結会計年度より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較分析しております。

#### <毎日の暮らし事業>

当事業は主に、株式会社ロゴガイドによるチラシ・買い物情報サービス「トクバイ」、株式会社くふうAIスタジオによるオンライン家計簿サービス「Zaim」等の事業で構成されております。

当連結会計年度において、「トクバイ」導入店舗の開拓においては、有料掲載店舗数が伸び悩みましたが、小売りの情報掲載業態の拡大と情報の網羅性向上に注力し、サービス登録店舗数が増加しました。また、ユーザーの購買行動等の具体的な生活行動に繋がる価値提供を目指し、メディア戦略の方針を転換したことに伴い、暮らしに関する総合情報メディア「くふうLive!」を事業譲渡いたしました。

以上の結果、当連結会計年度における毎日の暮らし事業の売上高は3,028百万円（前年同期比3.3%減）、営業利益は603百万円（前年同期比27.3%減）となりました。

#### <ライフイベント事業>

当事業は主に、株式会社くふう住まいコンサルティングによる各種コンサルティング事業及び自社施工事業、株式会社くふう住まいによる住宅・不動産専門メディア及び相談サービス、事業者向けSaaSツール、買取再販・仲介サービス等の住まい領域の事業、並びに株式会社くふうウェディングによるウェディング総合情報メディア、結婚式プロデュースサービス等の結婚領域の事業で構成されております。

当連結会計年度において、住まい領域は、株式会社くふう住まいコンサルティングが提供する各種コンサルティング事業については、厳しい市況の中、商材やウェブ集客支援の強化など会員工務店の施工受注支援に注力するとともに、不採算事業の整理を進め、収益力強化に努めました。株式会社くふう住まいが提供する不動産会社向け営業支援SaaSツールは堅調に販売が推移しました。また、相談サービスは成約数増加が収益に寄与したことに加え、足元では新店舗が順調に立ち上がり、相談件数も増加しました。結婚領域は、メディア事業は収益力強化に向けて商材拡充を推進し、結婚式プロデュース事業は施行や受注が増加傾向となり、通期での黒字化を達成いたしました。

以上の結果、当連結会計年度におけるライフイベント事業の売上高は9,148百万円（前年同期比22.5%減）、営業利益は669百万円（前年同期比1.7%減）となりました。

#### <投資・インキュベーション事業>

当事業は主に、当社や株式会社くふうキャピタルによる投資事業、株式会社Seven Signatures Internationalによる富裕層向けコンサルティングサービス、株式会社キッズスターによる子ども向け社会体験アプリ「ごっこランド」、株式会社くふうしずおかによる地域情報メディア・サービス、株式会社RETRIPによる旅行・おでかけメディア「RETRIP」、株式会社ゴールドエッグスによるスポーツ型のアミューズメントパーク施設「ニンジャ☆パーク」の運営等で構成されております。

当連結会計年度において、インキュベーション事業については、株式会社キッズスターが東京証券取引所グロース市場に上場しました。また、投資事業については、当社グループの企業価値を高める出資及びM&A等の検討を継続して進め、保有株式の一部売却を実施いたしました。

以上の結果、当連結会計年度における投資・インキュベーション事業の売上高は3,666百万円（前年同期比34.7%減）、営業利益は525百万円（前年同期比66.1%減）となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における総資産は18,875百万円となり、前連結会計年度末と比較し2,097百万円減少しました。これは主に現金及び預金が1,899百万円、投資有価証券が616百万円減少したことによるものであります。

負債は6,705百万円となり、前連結会計年度末と比較し2,670百万円減少しました。これは主に短期借入金404百万円、長期借入金が1,033百万円減少したことによるものであります。

純資産は12,169百万円となり、前連結会計年度末と比較し572百万円増加しました。これは主に資本剰余金が182百万円、利益剰余金が308百万円増加したことによるものであります。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、7,475百万円となり、前連結会計年度末と比較し1,893百万円減少しました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

## （営業活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度において営業活動の結果、減少した資金は196百万円となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益644百万円、のれん償却額670百万円があった一方、法人税等の支払額758百万円があったことによるものであります。

## （投資活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度において投資活動の結果、減少した資金は498百万円となりました。これは主に、投資有価証券の売却による収入723百万円があった一方、無形固定資産の取得による支出644百万円、事業譲受による支出269百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出219百万円があったことによるものであります。

## （財務活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度において財務活動の結果、減少した資金は1,192百万円となりました。これは主に、非支配株主からの払込みによる収入1,659百万円があった一方で、長期借入金の返済による支出1,179百万円、自己株式の取得による支出1,180百万円があったことによるものであります。

## (4) 今後の見通し

2025年9月期について、毎日の暮らし事業においては、サービス連携の強化、業務の効率化並びに組織の活性化に向けた組織再編を進めることを目的に、毎日の暮らし事業を構成する株式会社ロゴガイドと株式会社くふうAIスタジオを2025年1月1日付で統合し、一体運営をしていく予定であります。「トクバイ」サービスを起点として、チラシ掲載にとどまらない幅広い小売業態から地域サービスまで生活情報を網羅するサービス提供を推進するとともに、新規のサービス開発を強化してまいります。ライフイベント事業においては、住まい領域については、不採算事業の整理が進み、また、相談カウンターの事業基盤拡大によって、業績向上を目指してまいります。結婚領域については、引き続き商材の拡販や結婚式プロデュース事業の受注強化を通じて、収益力強化に努めてまいります。投資・インキュベーション事業においては、大きな投資回収案件は見込んでおりませんが、構成する各グループ会社の業績は堅調に推移することを見込んでおります。

これらの結果、当社グループにおける2025年9月期の連結業績は売上高1,400百万円、営業利益500百万円、EBITDA1,600百万円を見込んでおります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当連結会計年度 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,405	7,505
売掛金	1,129	1,125
商品	321	64
仕掛品	185	93
原材料及び貯蔵品	6	13
販売用不動産	1,232	1,483
営業投資有価証券	1,334	1,691
その他	525	836
貸倒引当金	△18	△8
流動資産合計	14,122	12,805
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	456	398
その他(純額)	212	74
有形固定資産合計	669	472
無形固定資産		
のれん	3,591	3,459
その他	794	1,015
無形固定資産合計	4,386	4,474
投資その他の資産		
投資有価証券	627	10
繰延税金資産	614	618
その他	780	565
貸倒引当金	△226	△87
投資その他の資産合計	1,795	1,107
固定資産合計	6,851	6,055
繰延資産		
株式交付費	—	14
繰延資産合計	—	14
資産合計	20,973	18,875

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当連結会計年度 (2024年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	823	696
支払備金	4	—
責任準備金	5	—
短期借入金	2,272	1,868
1年内返済予定の長期借入金	997	640
資産除去債務	0	2
未払法人税等	457	96
契約負債	1,259	1,198
賞与引当金	11	—
ポイント引当金	4	4
訂正関連費用引当金	45	45
その他	811	648
流動負債合計	6,693	5,201
固定負債		
長期借入金	2,079	1,046
資産除去債務	129	102
繰延税金負債	32	56
株式給付引当金	101	85
退職給付に係る負債	21	—
役員退職慰労引当金	41	—
その他	274	213
固定負債合計	2,682	1,504
負債合計	9,376	6,705
純資産の部		
株主資本		
資本金	13	30
資本剰余金	8,452	8,635
利益剰余金	1,739	2,047
自己株式	△132	△32
株主資本合計	10,073	10,680
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△13	30
為替換算調整勘定	9	3
その他の包括利益累計額合計	△4	34
新株予約権	10	3
非支配株主持分	1,517	1,451
純資産合計	11,596	12,169
負債純資産合計	20,973	18,875

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)	当連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
売上高	20,486	15,544
売上原価	10,686	7,422
売上総利益	9,800	8,122
販売費及び一般管理費	7,917	7,490
営業利益	1,882	631
営業外収益		
受取利息	1	0
為替差益	3	—
助成金収入	2	2
受取保険金	17	1
保険解約返戻金	32	2
その他	15	14
営業外収益合計	72	21
営業外費用		
支払利息	49	37
支払手数料	73	21
為替差損	—	9
持分法による投資損失	63	76
その他	34	8
営業外費用合計	220	153
経常利益	1,735	499
特別利益		
固定資産売却益	0	1
新株予約権戻入益	0	0
事業譲渡益	—	52
投資有価証券売却益	—	184
子会社株式売却益	—	37
抱合せ株式消滅差益	10	—
株式給付引当金戻入益	31	7
移転損失引当金戻入益	51	—
その他	2	3
特別利益合計	97	287
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	5	46
減損損失	67	33
事業整理損失引当金繰入額	4	40
子会社株式売却損	41	8
その他	31	13
特別損失合計	151	143
税金等調整前当期純利益	1,680	644
法人税、住民税及び事業税	656	233
法人税等調整額	231	123
法人税等合計	888	356
当期純利益	792	287
非支配株主に帰属する当期純利益 又は非支配株主に帰属する当期純損失(△)	244	△20
親会社株主に帰属する当期純利益	548	308



(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)	当連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
当期純利益	792	287
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△412	43
為替換算調整勘定	2	△5
その他の包括利益合計	△410	38
包括利益	382	326
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	138	346
非支配株主に係る包括利益	244	△20

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	13	9,016	1,191	△443	9,777
当期変動額					
新株の発行	0	0			1
親会社株主に帰属する 当期純利益			548		548
自己株式の取得				△465	△465
株式交換による変動		30		776	807
連結子会社株式の取得に よる持分の増減		△600			△600
連結子会社の増資による 持分の増減		6			6
非支配株主との取引に 係る親会社の持分変動		△2			△2
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	0	△564	548	311	295
当期末残高	13	8,452	1,739	△132	10,073

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	その他の包括 利益累計額合計			
当期首残高	399	6	406	10	1,469	11,663
当期変動額						
新株の発行						1
親会社株主に帰属する 当期純利益						548
自己株式の取得						△465
株式交換による変動						807
連結子会社株式の取得に よる持分の増減						△600
連結子会社の増資による 持分の増減						6
非支配株主との取引に 係る親会社の持分変動						△2
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△412	2	△410	0	48	△361
当期変動額合計	△412	2	△410	0	48	△66
当期末残高	△13	9	△4	10	1,517	11,596

当連結会計年度(自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	13	8,452	1,739	△132	10,073
当期変動額					
新株の発行	877	877			1,755
親会社株主に帰属する 当期純利益			308		308
減資	△861	861			—
自己株式の取得				△1,180	△1,180
自己株式の消却		△1,311		1,311	—
自己株式の処分				0	0
株式交換による変動		151		△31	120
連結子会社株式の取得に よる持分の増減		△992			△992
連結子会社の増資による 持分の増減		508			508
非支配株主との取引に 係る親会社の持分変動		87			87
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	16	182	308	100	607
当期末残高	30	8,635	2,047	△32	10,680

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	その他の包括 利益累計額合計			
当期首残高	△13	9	△4	10	1,517	11,596
当期変動額						
新株の発行						1,755
親会社株主に帰属する 当期純利益						308
減資						—
自己株式の取得						△1,180
自己株式の消却						—
自己株式の処分						0
株式交換による変動						120
連結子会社株式の取得に よる持分の増減						△992
連結子会社の増資による 持分の増減						508
非支配株主との取引に 係る親会社の持分変動						87
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	43	△5	38	△6	△66	△34
当期変動額合計	43	△5	38	△6	△66	572
当期末残高	30	3	34	3	1,451	12,169

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)	当連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,680	644
減価償却費	394	402
減損損失	67	33
のれん償却額	649	670
固定資産除却損	5	46
持分法による投資損益 (△は益)	63	76
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△86	1
事業整理損失引当金の増減額 (△は減少)	△48	—
移転損失引当金の増減額 (△は減少)	△144	—
受取利息	△1	△0
支払利息	49	37
為替差損益 (△は益)	0	1
固定資産売却損益 (△は益)	△0	△1
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△184
子会社株式売却損益 (△は益)	—	△37
事業譲渡損益 (△は益)	—	△52
売上債権の増減額 (△は増加)	154	△150
営業投資有価証券の増減額 (△は増加)	1,010	△294
前払費用の増減額 (△は増加)	38	△95
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△45	44
預け金の増減額 (△は増加)	5	△84
販売用不動産の増減額 (△は増加)	1,531	△174
仕入債務の増減額 (△は減少)	100	3
未払金の増減額 (△は減少)	△29	△111
契約負債の増減額 (△は減少)	△78	△60
未収入金の増減額 (△は増加)	9	12
未収消費税等の増減額 (△は増加)	40	△28
未払消費税等の増減額 (△は減少)	6	△54
その他	△39	△118
小計	5,333	524
利息及び配当金の受取額	1	0
法人税等の支払額	△563	△758
利息の支払額	△48	△35
助成金の受取額	2	2
法人税等の還付額	29	69
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,754	△196

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)	当連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△93	△122
有形固定資産の売却による収入	0	6
無形固定資産の取得による支出	△457	△644
投資有価証券の取得による支出	△10	—
投資有価証券の売却による収入	—	723
事業譲受による支出	△61	△269
事業譲渡による収入	—	65
敷金及び保証金の差入による支出	△240	△49
敷金及び保証金の回収による収入	206	30
資産除去債務の履行による支出	△43	△2
短期貸付金の増減額 (△は増加)	30	△0
保険積立金の解約による収入	102	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の 取得による支出	△413	△219
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の 取得による収入	109	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の 売却による支出	△30	△82
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の 売却による収入	—	24
その他	15	42
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△886</b>	<b>△498</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,003	△294
長期借入れによる収入	850	26
長期借入金の返済による支出	△1,098	△1,179
新株予約権の行使による株式の発行による収入	1	28
社債の償還による支出	△16	△8
自己株式の取得による支出	△465	△1,180
新株予約権の発行による収入	0	—
非支配株主からの払込みによる収入	1	1,659
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の 取得による支出	△4	△321
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の 売却による収入	—	94
株式の発行による支出	—	△14
その他	△14	△1
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△1,749</b>	<b>△1,192</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	6	△5
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,125	△1,893
現金及び現金同等物の期首残高	7,238	9,369
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	5	—
現金及び現金同等物の期末残高	9,369	7,475

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

## 1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、執行役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、サービスの性質により分類されたセグメントから構成されており、「毎日の暮らし事業」、「ライフイベント事業」及び「投資・インキュベーション事業」の3つを報告セグメントとしています。

「毎日の暮らし事業」は、インターネット等を通じてユーザーに日常や地域生活に関する情報やサービスを提供しております。「ライフイベント事業」は、住まい領域や結婚領域に関する情報やサービスを提供しております。

「投資・インキュベーション事業」は、投資先の価値向上を通じたキャピタルゲインを獲得することを目的とした投資や、グループの企業価値向上のために事業領域の拡大に向けた事業投資を行っております。

当連結会計年度より、経営管理区分の見直しを行い、従来「その他」に含まれていた関連会社に対する経営支援等、「毎日の暮らし事業」に計上していた株式会社キッズスター及び株式会社くふうしずおかの事業、「ライフイベント事業」に計上していた株式会社Seven Signatures Internationalの事業を「投資・インキュベーション事業」のセグメントの区分に変更しております。

なお、前連結会計年度のセグメント情報は、これらの変更を反映したものを開示しております。

## 2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表の作成の基礎となる会計処理の方法と一致しております。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は第三者間取引価格に基づいております。なお、当社では報告セグメントには負債を配分しておりません。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報  
前連結会計年度（自 2022年10月1日 至 2023年9月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	連結財務 諸表計上額 (注) 3
	毎日の 暮らし 事業	ライフ イベント 事業	投資・イン キュベシ ョン事業	計			
売上高							
顧客との契約から 生じる収益	3,037	11,783	2,697	17,518	54	0	17,574
その他の収益	—	11	2,900	2,912	—	—	2,912
外部顧客への 売上高	3,037	11,795	5,598	20,430	54	0	20,486
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	94	8	16	119	135	△255	—
計	3,132	11,803	5,614	20,550	189	△254	20,486
セグメント利益 又は損失 (△)	829	680	1,550	3,059	△149	△1,027	1,882
セグメント資産	4,173	15,214	3,940	23,328	—	△2,355	20,973
その他の項目							
減価償却費	51	214	113	379	3	10	394
のれん償却額	84	420	144	649	—	—	649
有形固定資産及び 無形固定資産の 増加額	123	300	255	680	—	△22	658

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、グループ内外向け技術支援等で発生した売上高及びセグメント利益又は損失(△)であります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社収益718百万円及び全社費用△1,147百万円、のれん償却額△595百万円、未実現利益の調整△2百万円が含まれております。全社収益は、各事業会社からの経営支援料が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない持株会社運営に係る費用であります。セグメント資産の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社資産18,368百万円、のれん3,336百万円、セグメント間取引△24,060百万円であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結財務 諸表計上額 (注) 2
	毎日の 暮らし 事業	ライフ イベント 事業	投資・イン キューベーシ ョン事業	計		
売上高						
顧客との契約から 生じる収益	2,762	9,145	2,206	14,114	—	14,114
その他の収益	—	1	1,427	1,429	—	1,429
外部顧客への売上 高	2,762	9,147	3,634	15,544	—	15,544
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	266	0	32	299	△299	—
計	3,028	9,148	3,666	15,843	△299	15,544
セグメント利益	603	669	525	1,797	△1,165	631
セグメント資産	4,083	15,392	6,583	26,060	△7,184	18,875
その他の項目						
減価償却費	61	195	137	394	8	402
のれん償却額	86	401	183	670	—	670
有形固定資産及び 無形固定資産の 増加額	154	618	227	1,000	△15	984

- (注) 1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社収益887百万円及び全社費用△1,388百万円、のれん償却額△628百万円、未実現利益の調整△36百万円が含まれております。全社収益は、各事業会社からの経営支援料が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない持株会社運営に係る費用であります。セグメント資産の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社資産18,765百万円、のれん3,262百万円、セグメント間取引△29,212百万円であります。
2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)	当連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
1株当たり純資産額	173.58円	179.21円
1株当たり当期純利益	9.56円	5.15円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	9.52円	5.14円

(注) 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)	当連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	548	308
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	548	308
普通株式の期中平均株式数(株)	57,340,844	59,812,477
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額 (百万円)	—	—
普通株式増加数(株)	212,784	74,873
(うち新株予約権(株))	(212,784)	(74,873)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当 たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概 要	新株予約権3種類 (新株予約権の数 12,790個、 普通株式 1,279,000株)	新株予約権2種類 (新株予約権の数 7,915個、 普通株式 791,500株)



## (重要な後発事象)

## (連結子会社間の合併)

## 1. 取引の概要

当社は、2024年9月10日開催の当社執行役員会において、当社の連結子会社である株式会社くふうAIスタジオを吸収合併存続会社とし、当社の連結子会社である株式会社RETRIPを吸収合併消滅会社とする吸収合併を行うことを決議し、2024年11月1日付で実施いたしました。

## (1) 結合当事企業の名称及び事業の内容

## (吸収合併存続会社)

名称：株式会社くふうAIスタジオ

事業の内容：家計簿 Zaim および派生サービスの企画・開発・運営、くふうカンパニーグループにおけるサービス企画・開発・運営、くふうカンパニーグループ外におけるサービス企画・開発・運営、新規事業の創出、R&D

## (吸収合併消滅会社)

名称：株式会社RETRIP

事業の内容：旅行・おでかけメディア「RETRIP」の運営

## (2) 企業結合日

2024年11月1日

## (3) 企業結合の法的形式

株式会社くふうAIスタジオを吸収合併存続会社、株式会社RETRIPを吸収合併消滅会社とする吸収合併

## (4) 結合後企業の名称

株式会社くふうAIスタジオ

## (5) その他取引の概要に関する事項

経営資源を集約し、経営を効率化することを目的としております。

## 2. 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 2019年1月16日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 2019年1月16日)に基づき、共通支配下の取引として処理しております。

## (連結子会社間の合併)

## 1. 取引の概要

当社は、2024年11月14日開催の当社取締役会において、当社の連結子会社である株式会社くふうAIスタジオを吸収合併存続会社とし、当社の連結子会社である株式会社ロコガイドを吸収合併消滅会社とする吸収合併を行うことを決議いたしました。なお、合併後の商号は株式会社くふうカンパニーとし当社の商号を株式会社くふうカンパニーホールディングスとする予定であります。

## (1) 結合当事企業の名称及び事業の内容

## (吸収合併存続会社)

名称：株式会社くふうAIスタジオ

事業の内容：家計簿 Zaim および派生サービスの企画・開発・運営、くふうカンパニーグループにおけるサービス企画・開発・運営、くふうカンパニーグループ外におけるサービス企画・開発・運営、新規事業の創出、R&D

## (吸収合併消滅会社)

名称：株式会社ロコガイド

事業の内容：チラシ・買い物情報サービス「トクバイ」の運営等

## (2) 企業結合日

2025年1月1日(予定)

## (3) 企業結合の法的形式

株式会社くふうAIスタジオを吸収合併存続会社、株式会社ロコガイドを吸収合併消滅会社とする吸収合併

## (4) 結合後企業の名称

株式会社くふうカンパニー

## (5) その他取引の概要に関する事項

毎日のくらし事業を構成する両社を統合し一体的に運営することにより、サービス連携の強化、業務の効率化並びに組織の活性化を図ることを目的としております。

## 2. 実施する会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 2019年1月16日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 2019年1月16日)に基づき、共通支配下の取引として処理する予定であります。